

戸隠地区住民自治協議会広報

こみゆにていー戸隠

平成24年度 第15号 発行者：戸隠地区住民自治協議会長 和田 文雄
【平成25年3月発行】

各委員会 活動報告

平成24年度事業報告

◆主な活動内容◆

【常任評議会】

元気なまちづくり市民会議開催（9月27日）

- ・保育園跡地などの市有地の有効活用
- ・地域の防災
- ・戸隠中社地区へのマレットゴルフ場整備
- ・戸隠スキー場駐車場の舗装化

住民大会の開催「寄っとくらえ♪」

（11月4日 各委員会と共催）

- ・福祉バザー、舞台発表、作品展示、生ゴミのリサイクル方法紹介、訪問入浴サービス実演そば打ち体験ほか

やまざと支援交付金事業

- ・市道を中心とした支障木の伐採
- ・野ねずみ駆除剤の配布

広報誌（こみゆにていー戸隠）の発行

【環境美化委員会】

草刈りやろうよ！隊（6月、9月）

- ・戸隠・柵 運動場周辺 参加者数 194人
- ごみゼロ運動 春・秋 2回
- 不法投棄防止看板購入
- ごみ集積所備品等補助
- 地区環境美化学習会 5地区

【健康支援委員会】

ノルディックウォーキング開催 10回

委員研修会

健康教室開催 30会場 395人

【安全・安心部会】

防災マップ・要援護者マップ作成

戸隠地区防災の日（11月20日）

【社会福祉委員会】

地域たすけあい事業

- ・福祉移送及び家事援助 延べ 843件
（3/15時点）

ひとり暮らしシニア旅行（11月、3月）

- ・参加者数 92人

おしゃべりサロン

- ・34会場 437人
- 共同募金の実施



おしゃべりサロンの一コマ

【青少年育成委員会】

地区懇談会 13会場（7月）

- ・学校との意見交換
- ・戸隠教育について

第2回子どもフェスティバル開催（10月）

- ・フィールドワークほか 参加者数 53人

青少年健全育成推進大会（11月）

- ・講演会「家庭が望む学校教育 学校が望む家庭教育」（住民大会と同時開催）

戸隠教育のまとめ

【公民館委員会】

女性レクリエーション 7月 18チーム 394人

成人式 8月 成人者出席 25人

第8回市民運動会 10月 参加者数 418人

【人権委員会】

人権推進員研修会

人権を考える集い 1月 参加者数 125人

講演会「いまわたしにできること

わたしたちにできること」

平成24年度 “人権を考える集い” が開催されました

“人権を考える集い”は、「人権問題」を常に自分自身の課題として考え、正しい認識を持ち、一人ひとりが大切にされる地域づくりをめざして人権感覚を磨くため毎年開催されているものです。

心配された天候も、前日の大雪とは打って変わって晴天になり、大勢の住民の皆様が参加され、平成25年1月27日（日）午後1時30分から長野市立戸隠公民館で開催されました。

当日は8名のご来賓のご臨席のもと開会行事が行なわれ、引き続き子供たちの作文発表、21世紀ボランティアグループ代表の丸田藤子さんの「いまわたしにできること わたしたちにできること」～被災地に学ぶ人権～と題して講演がありました。作文発表は、インフルエンザのため小学校が休校となっており出席できず、中学生2名のみの発表となりましたが、小学生・中学生・吉田高校戸隠分校の児童・生徒さんの作文が参加者全員に配布されました。

展示コーナーでは、戸隠小学校4～6年生全員のポスターと標語、戸隠中学校2年生1名・長野吉田高校戸隠分校1～3年生15名の標語が展示されました。また、長野市消防局緊急消防援助隊の皆さんが東日本大震災被災地で目の当たりにした被災地の写真の展示、アニマルライツ（動物がその動物らしく幸せに生きる権利）コーナーでは、私たちの身近にいる犬や猫の適切な飼い方等が紹介されていました。

開催が冬期のため、住民の皆さまの参加が難しい時期ではありますが、最終日となった公民館ギャラリーの展示を楽しんだり、久しぶりに会う人と旧交を温めたりと、人権学習のみではなく、何か得るものがある1日となったのではないのでしょうか。

また、丸田さんの講演の中で、人と人をつなぐツール（道具）として紹介された犬のぬいぐるみ“わんこ支縁大使”づくりが長野市立戸隠公民館の協力により3回に渡り開催されました。作成されたツールの内72ヶが提供され、皆の気持ちを代弁し義務教育を終え戸隠中学校を卒業する生徒と被災地へ届けられました。



中学生の作文発表

高千穂町交流協議会

第21回戸隠ホームステイ

平成24年度高千穂交流事業の戸隠ホームステイが12月26日から29日にかけて行われました。

今回高千穂町から4年生（女子6名）、5年生（男子2名）、6年生（男子2名・女子3名）計13名の児童が参加しました。受け入れは、8家族にそれぞれ分かれてのホームステイでした。

一行は、高千穂町役場を午前6時に出発し、熊本空港より飛行機、モノレール、新幹線など5種類の乗り物を乗り継ぎ、地質化石館で見学、化石のクリーニングをし、支所での歓迎・対面式を経て受け入れ家庭へと向かいました。高千穂で見たことのないさらさらのたくさんの雪でかまくらや雪だるまを作ったり、雪合戦をした子もいました。2日目と3日目のスキーの交流ではス



高千穂町の子もたちと戸隠の子もたち

キーが初めての子もおり、戸隠の小中学生と一緒に滑ったり教えてもらったりして楽しみました。特に2日目は快晴で素晴らしい景色を眺めながらのスキーでした。戸隠神社に参拝し、神話の講義を受け、自分で竹細工も作りました。森林囃子では、地域の方の指導の下、おやきを作りました。一人ひとりが慣れない手つきでおやきを丸めますが、見たこともないような独創的なおやきを作る子もいて、楽しみ満載の四日間でした。

◆戸隠連山のある日の会話から ～戸隠教育の概要～

戸隠地区の周囲に高くそびえる山々は、いつも何を見ていて何を感じているのでしょうか。今回は、今の青少年育成委員会が進めている「戸隠教育」について語っていただきました。

飯綱山；この頃、戸隠の青少年育成委員会で「戸隠教育」って言っているけど、ありゃあなんだい？

戸隠山；あれはね、今の戸隠の子どもを取り巻く状況から、青少年育成委員会が話し合っ、戸隠全体で戸隠の子どもを育てよう、としているんだよ。

荒倉山；子どもを取り巻く状況って、少子高齢化、過疎化による子どもの減少、それに伴う保育園、小中学校の統合のことを言っているんだね。

戸隠山；そうそう、保育園も一つ 小学校も一つ、中学校も一つだから、いいこともあるし心配なこともあるんだよ。

飯綱山；いいことって、どんなことがあるかなあ。

戸隠山；保育園と小学校、中学校がどうして行ったらいいのかを話し合ったり、協力し合ったりしていくと効果的な教育ができるのではないかな。

荒倉山；こういう子どもに育てようと考えて、保育園でこうして、小学校でこうして、中学校でこうしていけば、ということをはっきりさせることが大事なんだ。つまり、教育のねらいだな。

虫倉山；だから、青少年育成委員会では、戸隠の子ども今の様子や戸隠の子どもをどうしたいのか、ということ、地区懇談会などで意見を聞いてまとめているんだね。

戸隠山；その中で、戸隠を愛し戸隠の未来のことを考える人になってほしい、というのがあるんだけど、そのために、保育園や小中学校でどうして行けばいいのか、地区ではどうして行けばいいのかを、表にまとめて、今、学校ではどうするのか地区ではどうなのかを考えている段階だそう。

飯綱山；そのほかに、どんな子どもになってほしいのか、地区の人はどう考えているのかな。

大頭山；心身ともにたくましく、意欲的な人、ということと、礼儀正しく、思いやりをもった人というのがあるということだよ。

荒倉山；それはちょっと大まかなので、もう少し細かく分け、そのために必要なことを7つ決め出し、その一つひとつについて、保育園、小中学校、地区ではどうして行ったらいいのかをまとめているんだそう。

虫倉山；一昨年から始めた「子どもフェスティバル」というのは、そのことを考えている行事なんだね。

飯綱山；子どもフェスティバルではどんな事をやっているんだい。

戸隠山；まず、戸隠のことを知ってほしいということから、戸隠地区を歩いているよ。しかも、その途中に戸隠に関する問題を出したりしている。2時間ほど歩くのは、体力をつけたいという願いもあるんだ。

大頭山；子どもの自主性を育てるという意味から、実行委員会をつくって、子どもが計画や運営をしているんだ。午後のレクも、子どもが自分から人に関わらなければならないもので、自主性を育てているんだよ。

荒倉山；地域が大事なことをやっているんだね。保育園、学校と話し合うことが必要だね。

戸隠山；青少年育成委員会では、フェスティバルの実施で、子どもたちに戸隠のことを知ってもらったり体力や自主性を育てたりして、学校の教育活動の負担を少しでも減らせればと考えているようだ。同じように、保育園や小中学校の活動を見直して重複を減らしたり、重点化することを決めたりしていれば学校にゆとりが出て、一つひとつの教育に力が入られる。

虫倉山；なるほど、戸隠教育って、すごいことを考えているんだな。

飯綱山；でも、高いところから戸隠全部を見ていると、まだこの大事なことがみんなに周知されていない感じがするんだ。何とか地域の皆さんに理解してもらって、どんどん進めてほしいものだが……。

◎ありがとうございました。戸隠教育について、分かっていただけたでしょうか……

各区の現状を紹介しています。今回最終回です。

西条区

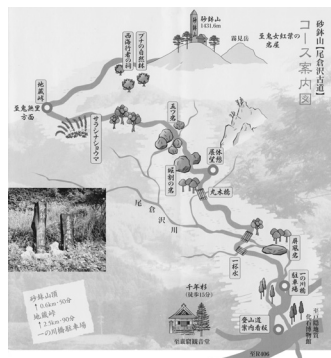
西条区は戸隠の西端に位置し、集落は点在していて世帯88戸、人口192人で地区内人口は減少傾向にあり、若者の流出と共に集落は弱体化している。近年、きわだった地場産物はないが高原野菜などの生産販売に日夜頑張っている。

かつて、農業の生産を上げるためになくはならなかった山「砂鉢山」は、人々の生活を支えていた大切な山で、当時鬼無里に通じる重要な街道の山でもあった。

この山を大切に守り育ててきた悠久の人々の想いと、我々子供の頃の遊び場でもあった里山の想いが重なり、有志の仲間が数年前からこの街道を「尾倉沢古道」として整備復活させた。藪刈り、道普請、丸太橋架け替え、見どころの整備、看板作り、広大なカラマツ林地の間伐、景観整備など砂鉢山トレッキングコースづくりが進められてきた。

この活動も4ヵ年を経過、春と秋の砂鉢山登山会のイベントは既に8回を数える。今この山を訪れるハイカーは年々増加し、年間数百人が訪れている。

さらに安全、安心な登山道の整備、景観の確保、保全管理を進め貴重で自然豊かな里山の魅力を地域内外に紹介し、登山者、観光客の誘致を図るなど地域の元気作りが進められている。この事業を通じ他地域との交流や、地域の絆の深まりなど、活性化に向けての活動が期待されている。(寄稿)



砂鉢山尾倉沢古道パンフレットの抜粋

宝光社区

宝光社区内には現在97世帯の皆様がお住まいです。郵便局・銀行・高校等があり、市中心地まで車で約30分と生活環境は、他の中山間地と比べたなら、まあまあだと思います。当区は、県道長野戸隠線と信濃信州新線の分岐点であり鏡池への南側入り口にあたります。宝光社神社の参拝客も増え、シーズンになれば混雑が激しくなっております。

好評の“そばの里二番館”は長野市の指定管理者に認定され、区が運営しており、年間約1,200名の観光客にご利用をいただいております。また、景観のよい鏡池は区の用水用溜池であり、周辺の土地は区所有の財産です。平成23年に発足した「鏡池周辺環境保全協議会」に参加し、区の発展の具体策として安全対策と環境美化に取り組んでおります。

平成24年に発足した「戸隠中社：宝光社地区まちづくり協議会」では、対象範囲や目的が大幅に拡大されました。善光寺周辺とバードラインの沿線及び奥社が新しく対象範囲になり、目的も「伝統的建物群」から「住民：地域全体」が対象になりました。この「まちづくり」に区民全員が参加をし、実行されれば新しい宝光社区誕生に一步前進すると確信しています。(寄稿)



開館時には観光客で賑わう“そばの里二番館”

北部区

北部区は県道長野戸隠線と馬場大久保線に到る道路の両側に住宅が立ち並び、馬場組、原組、尾上組、諸沢組と4集落からなり、173世帯が暮らしています。周囲は飯綱山、戸隠山、荒倉山に囲まれ春の新緑、秋の紅葉がすばらしい。

平坦な土地に恵まれ、直売所への出荷用や自家用として高原野菜を栽培しているが、クマ・イノシシ・ハクビシン等の有害鳥獣による野菜への被害も多い。またそば畑も多く、そばの花が咲く秋には写真撮影、写生に訪れる人が県内外から来ます。

公民館事業の史跡めぐり『達書場、桂の木、二条城跡、猪土手（ししどて）等』も大勢の人が参加し、大好評でした。

青少年育成事業の一環で、子供たちの夏休みに【たわわに実ったブルーベリー摘みと岩魚の掴み取り】を毎年開催し、大盛況である。

昔からの伝統文化である、子供たちによる鳥追い（松焼き前夜に有害鳥類を追い払うために家々を回る伝統行事）、お年寄りのお念仏講、馬場・原連、尾上組による春・秋の例祭が盛大に行われております。（寄稿）



尾上地籍の家並みと戸隠山

平成24年度

やまざと支援事業報告

平成24年度長野市やまざと支援事業は、2つの事業を中心に行いました。

(1) 市道を中心とした支障木の伐採

区長さんや市バス・スクールバスの運転手さんから申請があった場所のうち早く伐採すべきと判断した17ヶ所と推進員が地域を巡回し伐採が必要とした場所で作業を行いました。



支障木伐採作業のようす

(2) 野ねずみ駆除剤の全戸配布

概ね250gの駆除剤と使用説明書を3月下旬に各戸に配布します。

一斉駆除期間は、3月25（月）から4月7日（日）です。

（区によって、日程が異なる場合があります）

平成25年度

地域やる気支援補助金事業 内定ならず

平成25年度地域やる気支援補助金事業の申請にあたり、平成24年7月に常任評議会内に13名による検討委員会を立上げ、申請事業の検討を行ってきました。

申請事業を、少子高齢化が進み保存・継承が危ぶまれている「戸隠地区獅子神楽等の保存・継承事業」とし、各集落の獅子神楽等をDVDに収録し教本を作成するものでした。この補助金事業には長野市内の17地区から19事業が申請され、2月17日に公開審査を受けました。

地区の実情を表に出してプレゼンテーションに臨みましたが、残念ながら内定が得られませんでした。

次年度に向けて更なる検討をしてまいります。

参考 戸隠地区で地域やる気支援補助金事業の認定を受け取り組んだ事業内容
平成22年度 ノルデックウォーキング備品整備

行政区や住民自治協議会の組織を検討しています

平成24年7月に常任評議会内に行政区と戸隠地区住民自治協議会の組織検討委員会を立上げ、組織の検討を行ってきました。

行政区の組織

住民自治協議会組織と相似形とし、各区の組織を区長トップの共通的な組織にすることで、同じ基盤になり少子高齢化進行の危惧に対する論議もかみ合いやすくなります。

各区では、平成25年度に標準的なモデルをもとに検討を重ね、1年間の準備期間を経て原則平成26年度から共通的な組織への移行を目指します。

住民自治協議会の組織

平成25年度から組織の一部を変更します。
主な変更点は

- ・委員会制を主とし、委員会間で事業協力を行う。
- ・人権委員会と安全・安心部会の委員数を削減する。
- ・必要な委員会に複数年任期の専門委員を選任する。
- ・戸隠の発展や将来について語り合える会を設置する。

編集後記

今年度も最終号を迎えこの一年を振り返ってみると、今回特集の各区長さんにお会いしたり寄稿をお願いする機会をいただき、各区それぞれ問題をかかえておられ、ご苦労されている様子や戸隠全体の問題など老若男女が幸せに暮らせる環境作りにたくさんの方々の見えないご尽力を垣間見ることができました。ありがとうございました。（富永）

お問合せ先

戸隠地区住民自治協議会事務局

〒381-4102

長野市戸隠豊岡1554

Tel 254-2490 Fax 254-2327

e-mail togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp